

2024年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年1月31日

上場会社名 株式会社 ヨシタケ
コード番号 6488 URL <https://www.yoshitake.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 哲
問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長兼経理部長 (氏名) 島 勝彦
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 050-3508-5835

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	6,483	14.2	724	7.3	1,142	14.6	852	2.0
2023年3月期第3四半期	5,677	6.2	675	5.8	996	3.4	835	17.2

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 1,184百万円 (6.1%) 2023年3月期第3四半期 1,115百万円 (85.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	66.91	
2023年3月期第3四半期	65.46	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第3四半期	19,128	15,299	79.6	1,197.27
2023年3月期	16,796	14,478	85.7	1,130.02

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 15,226百万円 2023年3月期 14,401百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期		0.00		26.00	26.00
2024年3月期(予想)				27.00	27.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,400	11.8	1,020	7.4	1,500	13.2	1,100	3.7	86.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	13,934,946 株	2023年3月期	13,934,946 株
期末自己株式数	2024年3月期3Q	1,217,068 株	2023年3月期	1,190,268 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	12,740,098 株	2023年3月期3Q	12,761,405 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、上記予想に関する事項は、[添付資料] P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(会計方針の変更)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、5月に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが変更されたことにより経済活動の正常化が進みました。幅広い業種で価格転嫁が進んだことで物価高による下押しはあるものの賃金上昇を追い風に個人消費を中心に回復傾向で推移し、企業部門においては、製造業で半導体などの供給制約の緩和や原材料価格、エネルギー価格上昇の一服などにより好調を維持しました。また非製造業では、入国制限の緩和によるインバウンド需要の急増により宿泊・飲食サービス業を中心に大きく回復しました。今後につきましては、個人消費、設備投資、インバウンド需要の増加が景気を牽引し、当面は緩やかな回復傾向が継続する見通しであります。海外経済においては、米国経済は金融引き締め逆風下でも良好な雇用・所得環境を背景に堅調を維持しており、設備投資は半導体の国内生産を支援するインフレ抑制法などに基づく投資促進策が下支えとなって大幅に増加しました。欧州経済はロシアによる欧州向けのガス供給縮小を受け、各国で代替調達先確保などの取組みが進んでおり、エネルギー制約懸念の後退や堅調な雇用・所得環境、グリーン関連の政策支援・投資が経済活動を下支えたものの、既往の金融引き締め効果が抑制要因となり低成長で推移しました。中国経済はゼロコロナ政策解除後のウィズコロナ政策への転換による個人消費の加速が期待されたものの、住宅市場の低迷長期化などを背景に景気回復は鈍化しました。今後につきましては、ウクライナ問題は長期化の様相を見せており、地政学的なリスクがもたらす経済損失により世界経済は大幅に減速し、さらには資源、材料価格の上昇が加速することも予想されるなど、先行きについては依然として不透明な状況となっております。

当社グループにおきましては、新型コロナウイルス感染症拡大防止に十分注意を払いつつ、国内外のマーケット向け営業活動を強化してまいりました結果、国内顧客向け販売においては、工場設備市場では前期好調だった医療機関・医薬品工場向け製品の販売が伸びなかったものの、都心再開発計画などにより活況を呈している建築設備市場で受注を増やした他、プラント関連市場・製鉄関連市場において大型案件を複数受注した結果、国内売上は前期を上回る推移となりました。海外顧客向け販売においては、北米地域向け等の販売は前期を下回る売上だったものの、中国向けの販売が好調に推移したことに加え、前期に取得した海外子会社の売上を当期より連結した結果、販売活動全体としては前期を上回る結果となりました。今後につきましては、品質管理面においては、品質保証部門が牽引して再発防止活動を徹底し、自社責任クレームゼロを目指します。販売活動においては、地域戦略、個別戦略を重視した販売方法を設定し、テーマを決めて行動し結果につなげます。そして生産活動においては、より一層の改善を行い、不良率、不適合率を最小化させます。また、製造、営業等部門ごとに関係先の会社と緊密に連携し、シナジー効果を最大限発揮させ、経営の効率化と業績の向上に努めてまいります。

このような状況のもと、当社グループは引き続き積極的な提案営業を展開した結果、連結売上高は64億83百万円（前年同期比14.2%増）となりました。

損益面では、生産の効率化、工数低減やコスト削減を徹底したことなどにより営業利益は7億24百万円（前年同期比7.3%増）となりました。経常利益は持分法による投資利益の増加などにより11億42百万円（前年同期比14.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は8億52百万円（前年同期比2.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は191億28百万円となり、前連結会計年度末に比べ23億32百万円増加しました。主に現金及び預金が4億3百万円増加したこと、のれんが4億60百万円増加したこと、投資有価証券が4億4百万円増加したことなどによります。

負債は38億29百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億11百万円増加しました。主に短期借入金が増加したことや長期借入金が増加したことなどによります。

純資産は152億99百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億20百万円増加しました。主に親会社株主に帰属する四半期純利益を8億52百万円計上したことにより利益剰余金が増加したことや為替換算調整勘定が増加したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、2023年5月16日付決算短信にて開示いたしました予想値から変更はありません。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大による事業への影響につきましては、今後の状況を注視してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,284,979	2,687,997
受取手形及び売掛金	1,715,838	2,006,128
電子記録債権	976,500	1,079,589
有価証券	178,420	196,420
商品及び製品	1,287,655	1,580,204
仕掛品	801,737	825,586
原材料及び貯蔵品	992,612	1,065,294
その他	260,419	288,531
貸倒引当金	△22,710	△29,249
流動資産合計	8,475,451	9,700,503
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,516,360	3,583,311
減価償却累計額	△1,866,102	△1,983,062
建物及び構築物 (純額)	1,650,257	1,600,248
機械装置及び運搬具	4,192,524	4,594,145
減価償却累計額	△2,980,291	△3,386,039
機械装置及び運搬具 (純額)	1,212,233	1,208,106
土地	1,310,285	1,287,648
リース資産	120,655	271,192
減価償却累計額	△73,209	△98,513
リース資産 (純額)	47,446	172,678
建設仮勘定	167,119	297,169
その他	1,179,650	1,262,223
減価償却累計額	△1,102,102	△1,179,169
その他 (純額)	77,548	83,054
有形固定資産合計	4,464,890	4,648,906
無形固定資産		
のれん	307,950	768,692
その他	46,053	37,390
無形固定資産合計	354,004	806,082
投資その他の資産		
投資有価証券	3,136,204	3,540,799
その他	408,313	432,439
貸倒引当金	△42,647	-
投資その他の資産合計	3,501,870	3,973,238
固定資産合計	8,320,765	9,428,228
資産合計	16,796,216	19,128,731

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	761,617	928,222
短期借入金	300,000	700,000
1年内返済予定の長期借入金	1,016	140,004
未払法人税等	110,343	134,097
賞与引当金	171,851	106,474
その他	344,542	439,484
流動負債合計	1,689,371	2,448,284
固定負債		
長期借入金	20,300	524,995
リース債務	30,946	141,535
役員退職慰労引当金	128,024	137,137
退職給付に係る負債	408,403	418,067
資産除去債務	39,480	39,485
その他	923	119,636
固定負債合計	628,079	1,380,857
負債合計	2,317,451	3,829,142
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,908,674	1,908,674
資本剰余金	2,657,905	2,657,905
利益剰余金	9,185,474	9,706,592
自己株式	△467,677	△489,921
株主資本合計	13,284,377	13,783,251
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	45,118	100,684
為替換算調整勘定	1,072,290	1,342,815
その他の包括利益累計額合計	1,117,408	1,443,500
非支配株主持分	76,978	72,838
純資産合計	14,478,765	15,299,589
負債純資産合計	16,796,216	19,128,731

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	5,677,674	6,483,019
売上原価	3,300,479	3,940,165
売上総利益	2,377,195	2,542,853
販売費及び一般管理費	1,701,757	1,818,097
営業利益	675,437	724,756
営業外収益		
受取利息	43,990	48,002
受取配当金	11,325	13,122
物品売却益	-	66,330
持分法による投資利益	219,133	303,016
為替差益	48,605	-
その他	10,583	21,897
営業外収益合計	333,638	452,369
営業外費用		
支払利息	1,032	5,171
匿名組合投資損失	1,350	14,605
為替差損	-	8,295
固定資産除売却損	1,145	2,226
その他	8,697	4,566
営業外費用合計	12,225	34,864
経常利益	996,850	1,142,262
特別利益		
投資有価証券売却益	-	16,410
固定資産売却益	143,630	-
特別利益	143,630	16,410
特別損失		
減損損失	-	12,500
投資有価証券償還損	4,851	-
投資有価証券売却損	-	1,458
特別損失	4,851	13,958
税金等調整前四半期純利益	1,135,630	1,144,714
法人税、住民税及び事業税	138,758	238,738
法人税等調整額	152,282	47,636
法人税等合計	291,040	286,375
四半期純利益	844,589	858,338
非支配株主に帰属する四半期純利益	9,185	5,859
親会社株主に帰属する四半期純利益	835,404	852,479

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	844,589	858,338
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7,004	55,566
為替換算調整勘定	140,731	295,642
持分法適用会社に対する持分相当額	137,607	△25,118
その他の包括利益合計	271,334	326,091
四半期包括利益	1,115,924	1,184,430
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,106,738	1,178,570
非支配株主に係る四半期包括利益	9,185	5,859

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	日本	東南アジア	合計
売上高			
顧客との契約から生じる収益	5,162,231	515,442	5,677,674
その他の収益	—	—	—
外部顧客への売上高	5,162,231	515,442	5,677,674
セグメント間の内部売上高又は振替高	77,547	1,244,045	1,321,592
計	5,239,778	1,759,488	6,999,266
セグメント利益	535,513	128,690	664,203

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	664,203
棚卸資産の調整額	11,233
四半期連結損益計算書の営業利益	675,437

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	日本	東南アジア	合計
売上高			
顧客との契約から生じる収益	5,313,605	1,169,413	6,483,019
その他の収益	—	—	—
外部顧客への売上高	5,313,605	1,169,413	6,483,019
セグメント間の内部売上高又は振替高	80,979	1,461,886	1,542,866
計	5,394,585	2,631,300	8,025,885
セグメント利益	570,121	205,272	775,394

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額および当該差額の内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	775,394
セグメント間取引消去	△691
のれんの償却額	△33,370
棚卸資産の調整額	△16,575
四半期連結損益計算書の営業利益	724,756

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

「日本」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては12,500千円であります。

（のれんの金額の重要な変動）

当第3四半期連結累計期間において、Access Professional Singapore Pte. Ltd. 及びAccess Professional Vietnam Company Ltd. を連結子会社としたことにより、のれんの変動に重要な変動が生じております。当該事象によるのれんの増加額は490,608千円であります。なお、取得原価の配分が完了していないため、発生したのれんの金額は、暫定的に算定された金額であります。当該のれんについては、報告セグメントに配分しておりません。